

会 議 録

会議名	平成28年度 第1回 丸亀市行政評価委員会
開催日時	平成28年6月29日(水) 9:00~11:00
開催場所	丸亀市役所 本館3階特別会議室
出席者	<p>出席委員 赤熊一弘、岩永十紀子、岡本恵子、三輪千種、森茂、佐藤常光、藤川澄子</p> <p>欠席委員 吉田世津子</p> <p>事務局 (市長公室政策課) 課長 山地幸夫、副課長 富士川貴、担当長 志村芳隆、主任 宇野大志郎</p>
議 題	<p>1. 平成27年度外部評価結果への対応について</p> <p>2. 平成28年度行政評価について</p>
傍聴者	1名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
山地政策課長	<p>定刻が参りましたので、ただ今より丸亀市行政評価委員会を開会いたします。会長が選任されるまでの間、進行役を務めさせていただきます政策課の山地と申します。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、まず、行政評価委員会委員の皆様へ委嘱状を交付いたします。お名前をお呼びいたしますので、順に市長より委嘱状をお受け取りくださいますようお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">＜市長より各委員に委嘱状の交付＞</p>
山地政策課長	<p>それでは、ここで梶市長より、皆様にご挨拶を申し上げます。</p>
梶市長	<p>皆様おはようございます。ただ今、委嘱状をお渡しし、本日より新しいメンバーで行政評価委員会を進めていただくことになりました。お忙しい中、お引き受けいただきありがとうございます。</p> <p>行政評価委員会は、丸亀市の行政全般に対して、直接に事業自体の評価をいただくということで、大変重みがあり、評価結果については、市として丁寧に対応いたしたいと考えております。</p> <p>市民のための市政が私の基本姿勢ですので、限られた財源の中でも充実した暮らしが出来るような行政のあり方について、皆様の方からご意見をいただき、来年度以降の事業に反映させてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
山地政策課長	<p>市長は、公務の都合上、ここで退席させていただきます。続きまして、各委員より一言ずつ自己紹介をいただきます。</p>

	<p><各委員自己紹介></p>
山地政策課長	<p>次に事務局の自己紹介をさせていただきます。</p>
	<p><事務局自己紹介></p>
山地政策課長	<p>以上のメンバーで行政評価委員会を進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>本日配布いたしました会議資料のご確認をお願いします。それでは、事務局より「丸亀市行政評価委員会について」説明させていただきます。</p>
政策課 宇野	<p><資料に基づき説明></p>
山地政策課長	<p>質問等がございますでしょうか。</p> <p>無いようですので、会長、副会長の選任に移らせていただきます。丸亀市附属機関設置条例第6条第1項に、「附属機関に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める」とあります。いかがいたしましょうか</p>
赤熊委員	<p>事務局の考えはいかがでしょうか。</p>
山地政策課長	<p>事務局としましては、前回の行政評価委員のご経験がある方が二人いらっしゃいますので、会長は岡本委員、副会長は森委員にお願いできればと考えておりますが、いかがでしょうか</p>
	<p><異議なし></p>
山地政策課長	<p>岡本委員、森委員におかれましては、ご了承いただけますでしょうか。</p>
	<p><両委員了承></p>
山地政策課長	<p>それでは、岡本会長、森副会長よろしくお願いいたします。</p> <p>では、改めまして会長、副会長より一言ずつ、ご挨拶をお願いします。</p>
	<p><会長、副会長挨拶></p>
山地政策課長	<p>ありがとうございました。それでは、丸亀市附属機関設置条例第7条に基づきまして、会長に議長を引き継ぎますので、よろしくお願いいたします。</p>
岡本会長	<p>それでは、早速進めさせていただきます。議事に入ります前に、現在8名の委員のうち7名のご出席をいただいておりますので、丸亀市附属機関設置条例に基づき、会議が有効に成立していることをご報告しておきます。</p>

	<p>では、議事の1「平成27年度外部評価結果への対応について」事務局の説明をお願いします。</p>
<p>政策課 宇野</p>	<p><資料に基づき説明></p>
<p>山地政策課長</p>	<p>学校図書館教育推進事業につきましては、拡充の評価結果に対して、結果として平成28年度予算額は減額になっており、減額となっても納得していただける説明が必要であります。担当課との進行管理が十分に行えておらず、事務局として反省しているところです。平成29年度の予算編成に向けましては、編成作業のなかで、評価事業については担当課、政策課、財務課において進行管理していきたいと考えています。</p>
<p>岡本会長</p>	<p>先ほどの事務局の説明に対して、質疑等がございましたらお願いします。</p> <p>なければ、私の方から意見を述べさせていただきます。まず、学校図書館教育推進事業ですが、平成28年度の予算編成で重点的施策として掲げられている「人口減少に挑む」の項目のうち、「子育て環境の充実」に、この事業がまさに該当するものだと捉えております。市が重点的に取り組んで行こうとしている内容で、外部評価も拡充であったにもかかわらず、他の事業との兼合いで反映・拡充できなかったというのは、担当課が予算編成方針や外部評価を把握していなかったのではないかと見受けられます。</p> <p>この点は、事務局の政策課がどのように対応していくかも重要だと思います。平成29年度予算編成では、この事業が予算額だけでなく、内容面の充実という意味でも平成27年度より拡充されていることを期待します。</p> <p>それと、生活困窮者自立促進支援モデル事業、地域コミュニティ運営補助金に関しては、担当課が改善の方向に足を踏み出しているかと思います。ただ、PDCAサイクルでいうと、Cのチェックまでに留まっており、そのチェックをどのようにAの改善につなげていくのか、各担当課に返事を求めたいと思いました。</p> <p>コミュニティでいうと、次の世代の人材確保が進まないという課題は、既に明確になっているのですが、それに対して改善への具体性が見えないのです。今は、職員が地域担当職員というかたちで地域に入っていますから、市役所と地域が協力し、地域ごとの課題に対して、知恵を絞り、次世代を育成する方法を見出していったら欲しいと思います。</p> <p>それでは、議題の2「平成28年度行政評価」について説明をお願いします。</p>
<p>政策課 宇野</p>	<p><資料に基づき説明></p>
<p>岡本会長</p>	<p>ご質問・ご意見はございますか。</p>

赤熊委員	5つの事業の選定は、個人の主観でよいのか、市の予算編成方針を踏まえるべきなのか、どちらにウエイトを置くべきでしょうか。
山地政策課長	各委員の率直なご意見をいただければと思います。
岩永委員	選定にあたっては、同じ所属課のものにならないようにとか、あるいは総合計画の体系が重ならないようにといった考えはありますか。
山地政策課長	特に制限はいたしません。結果的に重なる場合も出てこようかと思います。
赤熊委員	選定理由は必要ですか。
政策課 宇野	まずは事業選定のみでかまいません。7月21日の会を開く場合は、選定の協議となりますので、ご意見をいただくことになるかと思います。
岡本会長	少し先の話になるのですが、現在の総合計画（後期計画）は今年度が最終になるかと思いますが、来年度の外部評価はどのようになりますか。
政策課 宇野	前回の総合計画（前期計画）が終わった段階では、個別の事業に対する評価ではなく、主要な施策レベル（48施策）で評価していただいた経緯があります。
岡本会長	事務局の案に対して、事業の選定はどうしますか。票決で事業が決まらない場合を想定して、第2回の日程を決めておくのはいかがでしょうか。
森副会長	その案でいいと思います。
	<日程調整>
岡本会長	それでは、5つの事業が決まらない場合の、仮の第2回の会議日程を7月21日としておきます。決まり次第、事務局よりお知らせいただければと思います。
富士川副課長	出席できない委員の方については、事務局の方で事前にご意見をお伺いして、会議に反映できるようにいたします。
岡本会長	他にないようでしたら、7月11日までに各委員からの選定事業の報告を事務局までお願いします。事業が決まりましたら、9月中旬のヒアリングに向けて、早めに資料を準備いただきまして、不足等ありましたら事務局の方へお願いします。
	それでは、以上で本日の会議を終了します。
	(会議終了)